

令和4年度農業農村整備事業情報連絡会議を開催しました

令和4年11月10日(木)「農業農村整備事業情報連絡会議」を北海道立総合研究機構 酪農試験場で開催しました。

地域を支える農業農村整備について、振興局と市町・JA等の関係団体が一堂に会し、種々の情報や課題意識を共有し、意見交換を行うことで、さらなる連携強化を図ることを目的としています。

振興局からは令和5年度国の概算要求や、先日、閣議決定された令和4年度第2次補正予算の概要、また、再評価にかかる公共事業評価委員会での主な審議内容や、農業農村整備事業を契機とした地域振興事例集の紹介等について話題提供を行いました。

また、振興局と地元とが今まで以上に連携し、その取り組むべき姿・流れを『見える化』した“新たな計画策定のあり方・スケジュール”についても、協力への理解を求め、計画策定前に行っている3回の農家聴取りについて、改善等の可能性についても意見を交わしました。

その他、多面的機能支払交付金を活用した共同活動での安全対策の徹底や、草地整備における施工時期平準化の状況報告、さらには近年、増加傾向にある事業費等の動向や、団体営事業の内容・採択要件などについて、各担当者から説明がありました。



振興局と市町・JA等の関係団体29名が参加



農業農村整備事業の動向について話題提供

頻発・激甚化している大規模自然災害を踏まえ、「根室振興局災害対応連絡会議」もあわせて開催しています。

発災時の連絡体制・役割分担について示した根室振興局農村振興課災害対応マニュアル(令和2年策定)で、被害調査に必要な資機材リストの更新や、土取場・土捨場等を示した位置図を整理したこと、また今年7月に関係市町・JAと実施した“初動対応訓練”後のアンケート結果など、市町・JA等構成員の方々と共有を図りました。

食料供給地域として、北海道の役割はますます大きくなっています。引き続き、顔をあわせながら地域の声をしっかり聴き取り、農業農村整備を計画的・効果的に推進していく考えです。